

事 案 一 覧 表

鉄 道 局

平成25年3月28日

説明聴取事案とされたい事案

申 請 種 別	軌道運送高度化実施計画の認定
申 請 年 月 日 受 付	平成25年2月5日 平成25年2月27日
申 請 者 名	(軌道整備事業を実施しようとする者) 富山市長 森 雅志 (軌道運送事業を実施しようとする者) 富山地方鉄道株式会社 代表取締役社長 川岸 宏
申 請 内 容	富山県富山市明輪町73番1 から 富山県富山市新富町一丁目6番1 まで 0.16キロメートル
運 輸 局 別	北陸信越運輸局
備 考	

富山駅路面電車南北接続事業にかかる 軌道運送高度化実施計画の認定申請について

1 申請者の概要

(1) 軌道整備事業を実施しようとする者

- ① 申請者 富山市長 森 雅志
- ② 所在地 富山県富山市新桜町7番38号
- ③ 面積 1,241.85 km²
- ④ 人口 42万2千人
(人口密度) 339.9人/km²
- ⑤ 主な産業 医薬品製剤製造業、電子部品製造業、自動車部分品製造業
- ⑥ 財政状況 165,834百万円(H22年度一般会計決算額)
- ⑦ その他 自家用自動車保有率(富山県)1.72台/世帯(全国2位)

(2) 軌道運送事業を実施しようとする者

- ① 申請者 富山地方鉄道株式会社 代表取締役社長 川岸 宏
- ② 所在地 富山県富山市桜町一丁目1番36号
- ③ 会社設立日 昭和5年2月11日
- ④ 資本金 1,558百万円
(出資内訳) 立山黒部貫光(株) 10.93%、富山県 3.56%、
北陸電力(株)2.97% その他
- ⑤ 役員・社員数 役員12名(うち常勤6名)、社員数387名

2 申請の概要

- (1) 申請年月日 平成25年2月5日
- (2) 事業種別 軌道事業
- (3) 区間 富山市明輪町73番1～富山市新富町一丁目6番1
- (4) 営業キロ 0.16キロ
- (5) 単・複線の別 複線
- (6) 駅数 1駅
- (7) 運転計画 平日238本/日(3系統)
編成両数:22両
- (8) 建設費(車両費含む) 1,912百万円
- (9) 開業予定時期 平成27年3月

3 申請の理由

富山市では、鉄軌道をはじめとする公共交通を活性化させ、その沿線に居住、商業、業務、文化等の都市の諸機能を集積させることにより、公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくりの実現を目指している。

富山駅南側を走る路面電車の軌道を富山駅高架下まで延伸をする事業は、北陸新幹線開業を視野に入れた富山駅周辺地区と平和通り周辺地区のアクセス強化、都心地区全体の回遊性の向上及び中心市街地の活性化、富山駅の交通結節機能を強化し、利便性を格段に向上させるとともに、南北路面電車の接続による路面電車ネットワークの形成を図るため進めるもの。

富山市及び富山地方鉄道株式会社では、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」を活用し、「軌道運送高度化事業」として富山市が軌道整備事業者となって整備を行い、富山地方鉄道株式会社が軌道運送事業者となって運行を行う上下分離方式により、平成27年3月の開業を目指し事業を行うものである。

以上の理由により、路面電車南北接続事業の軌道運送高度化実施計画の認定申請に及んだものである。

4 関係者の意向について

(1) 道路管理者

北陸信越運輸局長から道路管理者である富山市長に対し、意見を聴取したところ、異存のない旨、回答を得ている

(2) 議会

市議会においても、事業化について全会一致の賛成を得ており、平成24年度補正予算案に盛り込まれた同事業に対する工事費などが可決されており、また、道路管理者の同意及び軌道整備事業を行うことについての議決を得ている。

(3) 沿線の商工団体

南北接続事業に対して富山市に早期実現に向けての要望もあり、賛意を示している。

(4) 沿線住民

住民への説明及び周知については、市長自ら、これまで延べ100回以上のタウンミーティング等へ出席し、同事業への理解を得ている。

(5) バス事業者

富山駅南側では、富山地方鉄道(株)が路線バスを運行させているが、競合する路線はなく、南北接続事業に対しても合意している。

事業計画の概要

項目	概要																				
1 申請者	軌道整備事業者名	富山市																			
	所在地	富山県富山市新桜町7番38号																			
	代表者	富山市長 森 雅志																			
	軌道運送事業者名	富山地方鉄道株式会社																			
	所在地	富山県富山市桜町一丁目1番36号																			
	代表者	代表取締役社長 川岸 宏																			
2 建設区間 及び 予定工期	建設区間	富山市明輪町73番1～富山市新富町一丁目6番1																			
	営業キロ	0.16 km																			
	予定工期	平成25年10月～平成27年3月																			
	開業予定	平成27年3月																			
3 輸送需要	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width: 15%;">区分 年度</th> <th rowspan="2" style="width: 15%;">年間 輸送人員 (千人)</th> <th rowspan="2" style="width: 15%;">1日平均 輸送人員 (人)</th> <th colspan="2" style="width: 55%;">ラッシュ時最混雑区間</th> </tr> <tr> <th style="width: 20%;">通過人員 (人/時)</th> <th style="width: 35%;">混雑率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成27年度 (開業時)</td> <td style="text-align: center;">259</td> <td style="text-align: center;">12,186</td> <td style="text-align: center;">815</td> <td style="text-align: center;">70</td> </tr> <tr> <td>平成30年度 (熟成時)</td> <td style="text-align: center;">296</td> <td style="text-align: center;">12,286</td> <td style="text-align: center;">823</td> <td style="text-align: center;">71</td> </tr> </tbody> </table>				区分 年度	年間 輸送人員 (千人)	1日平均 輸送人員 (人)	ラッシュ時最混雑区間		通過人員 (人/時)	混雑率 (%)	平成27年度 (開業時)	259	12,186	815	70	平成30年度 (熟成時)	296	12,286	823	71
	区分 年度	年間 輸送人員 (千人)	1日平均 輸送人員 (人)	ラッシュ時最混雑区間																	
				通過人員 (人/時)	混雑率 (%)																
	平成27年度 (開業時)	259	12,186	815	70																
	平成30年度 (熟成時)	296	12,286	823	71																
	(備考)																				
○ 最混雑区間 (軌道線全体) 荒町～桜橋間																					
○ 平均乗車キロ (軌道線全区間) 平成27年度 2.8 km																					

項目	概要				
4 運行計画	運行系統（運行系統図参照）				
	第1系統 南富山駅前～（仮）富山駅中央				
	第2系統 南富山駅前～（仮）富山駅中央～大学前				
	第3系統 （仮）富山駅中央～丸の内～グランドプラザ前～（仮）富山駅中央				
	年度 項目		平成27年度 （開業時）	平成30年度 （熟成時）	平成24年度 （現在）
	開業区間		南富山駅前～ （仮）富山駅中央		南富山駅前～ 富山駅前
	営業時間		5:40～23:40		5:40～23:44
	運 転 間 隔	ピーク時	同左		12分（第1系統） 6分（第2系統） 20分（第3系統）
		オフピーク時			10分（第1系統） 10分（第2系統） 10分（第3系統）
	所要時分		約36分（第2系統）～ 約21分（第1系統）		約30分（第2系統）～ 約15分（第1系統）
列車編成数		デ7000形×12編成 デ8000形×5編成 デ9000形×3編成 T100形×2編成	デ7000形×9編成 デ8000形×5編成 デ9000形×3編成 T100形×5編成	デ7000形×12編成 デ8000形×5編成 デ9000形×3編成 T100形×2編成	
車両数		22両		22両	
車両定員		66名～90名		66名～90名	
ラッシュ時間帯		7時00分 ～8時00分		7時00分 ～8時00分	
5 建設費	<p>(1) 建設費総額（車両購入費除く） 862百万円 （キロ当たり建設費 5,388百万円）</p> <p>(2) 年度別建設費 621百万円【25年度】 241百万円【26年度】</p> <p>(3) 車両購入費（4編成） 1,050百万円【26～31年度】 ※車両は軌道運送事業者（富山地铁）負担</p>				

項 目	概 要		
6 資金計画	(単位：百万円)		
	区 分	資 金 種 別	金 額
	軌道整備事業者 (富 山 市)	国庫補助金 富山市単独費	(365) (497) 862
	軌道運送事業者 (富山地方鉄道株)	国庫補助金 地方自治体(県・市) 富山地地方鉄道単独費	(333) (333) (384) 1,050
	合 計		1,912
7 収支試算	<p>(1) 富山地方鉄道株式会社</p> <p>収 入：運輸収入、運輸雑収</p> <ul style="list-style-type: none"> ・均一制運賃(200円)、運賃改定は見込まない。 <p>経 費：動力費、その他経費、線路使用料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山地方鉄道株の実績値を基本として算出 <p>(2) 富山市</p> <p>収 入：線路使用料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山地方鉄道株の実績値を基本として算出 <p>経 費：人件費(計上なし)</p> <p>修繕費、その他経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山地方鉄道(株)の実績値を基本として算出。 <p>【収支結果】(富山地方鉄道、富山市)</p> <p>(損益収支)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開業年度から黒字を見込み、欠損は生じない。 <p>(資金収支)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開業年度から資金不足は発生しない。 		